

令和7年度までの福島イノベーション・コースト構想の取組

参考資料

あらゆるチャレンジが可能な地域

様々な分野におけるイノベーションにつながる新たなチャレンジを実施できる地域となることを目指す

地域を実証フィールドとして活用する企業等の呼び込み



ドローンによる実証試験

○福島浜通りロボット実証区域

ロボットの研究開発を積極的に支援するため、県内の橋梁やダム、河川、山野などを実証試験や操縦訓練の場として提供。

試験誘致件数：1,852件
(H30年7月からR8年2月末まで)

○浜通り地域等への企業誘致

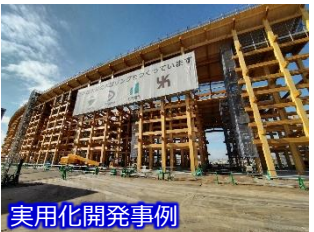
優れた立地環境や各種優遇制度等を紹介するセミナー、産業団地を巡る現地見学ツアー、個別現地案内等実施し、浜通り地域等への企業誘致を促進。

浜通り地域等における
累計企業立地件数・雇用創出数

企業立地件数：442件
雇用創出数：5,022人(R7年3月末時点)
※新增設に対する補助金の採択ベース



企業立地セミナー



実用化開発事例

○地域復興実用化開発等促進事業

福島イノベーション・コースト構想において重点的に取り組む分野について、地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等を促進。

R7年度までの採択実績
延べ584件(うち新規採択281件)
(H28年度からR7年度まで)

○イノベーション創出プラットフォーム事業

Fukushima Tech Create
…起業・創業ステージに応じた3つのプログラムにより、イノベ地域において事業化に至るまでの様々な支援を実施。

採択件数
223件(R2年度からR7年度まで)



Fukushima Tech Create2026 成果発表会

交流人口・関係人口の拡大 情報発信

○東日本大震災・原子力災害伝承館

複合災害の記録や教訓、復興の歩みを未来に継承し、防災・減災に生かしていく施設。展示や語り部講話等を通じて国内外に情報を発信。

令和7年12月 来館者数44万人達成



展示コーナー

○福島イノベ構想シンポジウム

構想の進捗状況等について、幅広い層への認知を促進させるとともに構想の理解を深化させることを目的としたシンポジウムを開催。

1月22日 CREVAおおくま
来場者数:300名(オンライン視聴:95名)



イノベ構想シンポジウム

○地域住民向け「見える化セミナー」

構想を身近に感じるためのセミナーを開催。

- ・10/19 見える化セミナー 会津若松市
参加者：73名
- ・12/21 見える化セミナー 田村市
参加者：68名



福島イノベ構想
見える化セミナー

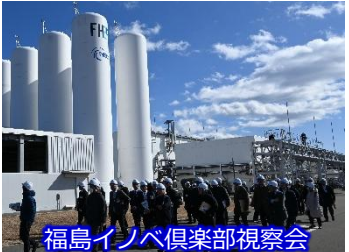
地域の企業が主役

最先端分野だけでなく、地域に根ざした産業を含め地元企業が幅広く構想に参画できるよう、地元企業と進出企業の連携を広域的に進める

地元企業の参画拡大、県内他地域との連携強化



福島廃炉産業ビジネス総合展



福島イノベ倶楽部視察会

○廃炉関連産業マッチングサポート事務局

元請企業と県内企業のマッチング支援
R7年度までの成約実績：1,988件
(R8年2月末時点)

○福島イノベ倶楽部

異業種間の連携、地域間の連携、地元企業と進出企業との連携による新事業の創出や取引拡大を目指す異業種交流の場。

会員数：177企業・団体
(正会員141、賛助会員36)

- ・交流会開催
第1回 元請 11社、県内企業 19社 参加(8/5)
第2回 元請 6社、県内企業 19社 参加(1/27)
- ・廃炉スタディーツアー開催
第1回 7社(14名)参加(7/22)
第2回 7社(11名)参加(10/7)
- ・福島廃炉産業ビジネス総合展(10/24)
42ブース出展、参加者 653名

○福島イノベ企業合同プレス発表会の開催

浜通り地域等への進出企業や新しい取組を行っている地元企業等の活動を支援するため、取組内容や成果を広く発信する合同プレス発表会の開催。

- 第1回(7/1) 発表企業3社(水素と音声に関する事業化)
- 第2回(12/11) 発表企業1社(課題解決と六次化に関する事業化)
- 第3回(3/6) 発表企業5社(NEDOと共催、ドローンと水素をテーマに高輪ゲートウェイで開催)



合同メディア発表会

構想を支える人材育成

自立的・持続的な産業発展を成し遂げるため、地域でイノベーションを生み出す人材と産業集積を支える人材を育成する

小中学校、高校におけるキャリア教育の推進

第12回双葉郡ふるさと創造学サミット(児童生徒483名が参加)



ふるさと創造学サミット

○小中学校

構想の実現に貢献する人材育成の裾野を広げるため、双葉郡8町村が連携して取り組む探究的な学習「ふるさと創造学」の実施を支援。

○高等学校

福島イノベーション人材育成支援事業「成果報告会」
構想に関する教育プログラムの成果報告会を開催。
県内高校12校、約100名参加
(2/3 東日本大震災・原子力災害伝承館)

○ふくしまイノベ未来講座(広域連携促進事業)

福島県内の児童生徒に対して、イノベ構想に関わる有識者を招聘する出前講座。



ふくしまイノベ未来講座

福島イノベ構想推進産業人材確保事業

工業高校生等を対象とした地元企業の見学等の取組を支援し、地元就職を促進する事業。



福島イノベ構想推進産業人材確保事業

大学等による教育研究活動(復興知事業)

人材育成基盤の構築を目指し、全国各地の大学等が浜通り地域等で実施する教育研究活動を支援。

浜通り地域等で就職・就農 116人
採択大学等の学生・教職員現地活動参加人数 延べ 42,816人(R7年10月末時点)



「復興知」事業
(東京農業大学・双葉町)

福島国際研究教育機構

福島国際研究教育機構(F-REI)の機能の最大化

令和5年4月に浪江町に設立され、構想を更に発展させる役割も持つF-REI。委託による研究開発に加え、F-REI内の研究ユニットも順次立ち上げ、研究開発基盤の構築に取り組んでいるほか、令和7年4月には起工式が開催され、施設整備も本格的に開始するなど、「創造的復興の中核拠点」を目指した取組を着実に実施。



F-REIの完成予想図



第4回新産業創出等研究開発協議会



F-REI
福島国際研究教育機構

青写真の改定

「福島イノベ構想を基軸とした産業発展の青写真」の改定

福島の復興を更に加速させるため、復興庁・経済産業省・福島県の3者で、福島県浜通り地域等の自立的・持続的な産業発展の実現に向けた産業発展のビジョンとして令和元年に策定した「福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真」を改定(6/6)。



イノベ構想推進分科会での青写真改定に係る意見交換

課税の特例

課税の特例(イノベ税制)

イノベ構想の重点分野の取組を推進するため、新産業創出等推進事業を行う事業者を対象として固定資産税の課税免除等により支援。

令和7年度認定実績
・ロボット・ドローン分野に係る取組(葛尾村)
・農林水産業分野に係る取組(浪江町)
計2件(R8年2月末時点)



活用事例：(株) いちい